

★★★★★ 「こうや花鉄道」プロジェクト ★★★★★

“雨水”を利用して環境に配慮

高野線 下古沢駅に「バラ花壇」を設置しました

南海電鉄（社長：亙 信二）では現在、「こうや花鉄道」プロジェクトとして、世界遺産・高野山という目的地に加え「そこへ向かう道中」においても鉄道の魅力を作り出し、高野山旅行の「楽しさ」や「期待感」の創出に取り組んでいます。

同プロジェクトの一環として、本日5月12日（木）、高野線 下古沢駅周辺に「バラ花壇」を設置しました。

地元ボランティアと協働で手入れ

地元ボランティア「下古沢ふる里づくりささゆりの会」の皆さまと協働で、20品種のバラの苗200株を植えました。

同会の皆さまには、当社と協働で同駅「花屏風」の花の手入れを行っていただいております。今後は花屏風に加えてバラの手入れも協働で行ってまいります。

今回植えたバラの一部は既に咲き始めており、毎年5月から11月にかけて順次、開花する見込みです（四季咲き）。

※開花時期は気候やバラの品種によって異なります。



苗の植付け（今年4月28日実施）

雨水を利用して環境に配慮

バラの生育には大量の水を必要とするため、バラ花壇付近の3カ所に「雨水タンク」を設置しました。

隣接する事務所の雨どいを通してタンクに貯まった雨水を利用し、水道水を節約することで環境に配慮しています。



下古沢駅「バラ花壇」



雨水タンク

下古沢駅に設置した「バラ花壇」について

1. 名称

下古沢駅「バラ花壇」

2. 設置場所

高野線 下古沢（しもこさわ）駅周辺

※駅の所在地：和歌山県伊都郡九度山町大字下古沢

3. 花壇のサイズ・数（区画）

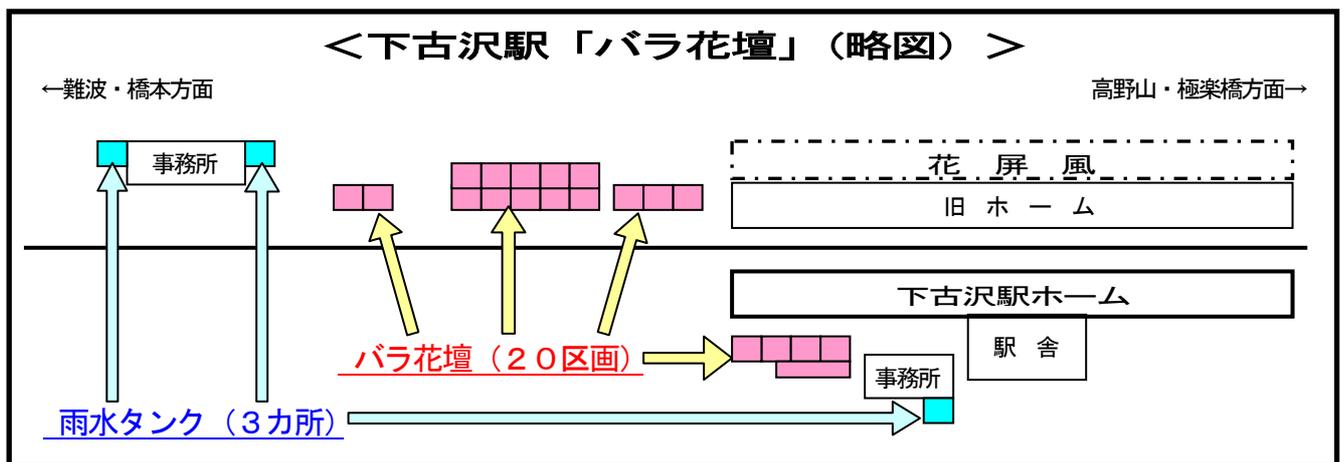
(1) 200cm×200cmの花壇・・・19区画

(2) 80cm×560cmの花壇・・・1区画

※花壇の素材として和歌山県産の「紀州材」を使用しています。

4. バラの品種・株数

20品種×各10株、合計200株 ※別紙（品種一覧）参照



<ご参考> 下古沢駅「花屏風」について

下古沢駅の「花屏風」は、平成19年10月に「こうや花鉄道」プロジェクトの第1弾として設置しました。サルスベリやニッコウキスゲ、スイセンなどを植えており「下古沢ふる里づくりささゆりの会」の皆さまと協働で毎月1回、花の手入れを行っています。

以上



アイスバーグ



アプリコットネクター



イヴピアジェ



インターナショナル
ヘラルドトリビューン



ウェルビーン



エトワールエテルネル



クリムソングローリー



コウカ (光華)



ジャックカルチェ



ショッキングブルー



シンデレラ



スモーキー



ディプシーイン
コンキュバイン



ニューウェーブ



フランシスデュブリュイ



プリンセスドモナコ



ブルームーン



フンショウロウ



ユアインネルン
アンシュロス
シャルフェンステン



ヨハンシュトラウス